

「幸せって 何だろう?」

校長 堀岡 満喜子



もうずいぶん前のことですが、ある日の聖書の授業で「将来、どんな生活がしたいですか?」という質問をしたことがありました。

医者になりたいと願っていた男子生徒が「BMWに乗ることです」と言ったことを覚えています。どんな家に住み、どんな車に乗り、誰とどのように暮らしていくか…中学生の皆さんには色々と思い描く将来の絵があるのだらうなあとと思います。それは、「幸せの絵」なのかもしれません。

礼拝のお話しでも時々出てくる『少女パレアナ』という物語があります。パレアナは英語ではPollyannaと表記し、ポリアンナと訳されることもあります。

パレアナは、牧師だったお父さんが教えてくれた「何でも喜ぶゲーム」を、両親が亡くなった後も続けていました。どんな状況の中でも、その中にある「喜び」を探し出します。

孤児になったパレアナは気難しい叔母の豪邸に引き取られました。この家の中に自分の部屋をもらえることに胸を膨らませていたパレアナは、窓しかない殺風景な屋根裏部屋に通されたとき、がっくりと座り込んでしまいました。それでも、少し経ってから立ち上がって動き出し、その中に「喜び」を探し出していきます。

「鏡のないのもうれしいわ。鏡がなければ、そばかすも見えませんがね」と言い、「いままで気が付かなかったわ。見てごらんさい…ずうっと向こうのほうを。木や家や教会の塔や、それに川が流れてるのが絵のようじゃない。あんないい景色があったら、絵なんか見ないでいいわ。おばさんがこの部屋をくださってうれしいわ」(『少女パレアナ』村岡花子訳より)

こんな調子で、どんな絶望的な状況でも。たとえ、ふさぎ込んでしまったとしても。パレアナは、やがて心を高く上げて喜びはじめるのです。

パレアナを見ていると、幸せはどのような状況の中でも喜ぶこと、その喜びをみんなに伝播させることができることなのだと思います。

創設者メリーヘッセル先生は、開校式で「卒業生が、その順境の時も逆境の時も、善良な品性の輝きを世界に広げるなら、本校の設立の目的は果たされる」とおっしゃいました。それは、どのような逆風の中にも、感謝や喜びを見つけ出すパレアナのような生き方かもしれません。

どうぞ、いつも、幸せであってください!どんな状況の中でも!たとえ思い描いた「幸せの絵」ではなかったとしても。あなたの目で、喜びを探し出し、幸せを伝播させる人であってください。私たちも、あなたのために、いつも祈っています。



陸上競技部

★金沢市中学校夏季陸上競技大会

【男子共通走幅跳】	1位	3年 森口 純樹
【男子共通100m】	6位	3年 森口 純樹
【男子共通110mH】	1位	2年 越原 橙
【男子1、2年走幅跳】	4位	2年 越原 橙
【女子1、2年走幅跳】	1位	2年 東田 向茉莉
【女子共通100mH】	5位	2年 東田 向茉莉

★石川県中学校選抜混成競技大会

【男子共通四種競技】 **3位** 3年 森口 純樹

★金沢市中学校秋季新人競技大会

【男子共通110mハードル】	1位	2年 越原 橙
【女子共通100mハードル】	3位	2年 東田 向茉莉
【女子共通走幅跳】	3位	2年 東田 向茉莉

★石川県ナイター陸上競技大会

【中学男子走幅跳】	3位	2年 越原 橙
【中学女子走幅跳】	1位	2年 東田 向茉莉

★高円宮杯全日本中学校英語弁論大会石川県大会

【弁論部門】	1位	3年 キム イェイル
【暗唱部門】	2位	2年 後藤 月愛

★西日本スノーボードアルペン選手権大会

【男子大回転】 **3位** 2年 浅田 礼仁

★北信越ジュニアオリンピック飛込競技大会

【女子12~13歳高飛込】 **2位** 1年 近澤 杏葉
【女子12~13歳1m飛板飛込】 **2位** 1年 近澤 杏葉

★石川県中学校体育大会水泳大会

【女子飛板飛込】 【女子高飛込】 **5位** 1年 近澤 杏葉

★石川県中学生新人柔道大会

【女子個人】 **3位** 2年 清田 阿弥

★石川県小中学生

「わたしと介護」作文コンテスト **入選** 3年 森口 純樹

★石川県俳文学協会

児童・生俳句大会 **佳作** 1年 藤田 笙斗

沖縄 修学旅行

4/23(火)~26(金)

初めての修学旅行、初めての沖縄。どの記憶を振り返っても大切な思い出となり、単純に「楽しかった」だけではなく、多くの学びを得ることができました。

特に、ひめゆりの塔で読んだ、沖縄戦体験者の赤裸々に書かれた実体験が、印象に残りました。事実を美化することなく、生々しく書かれたその文章は、自分のことではないのに、とても怖くなったのを覚えています。太平洋戦争と言えば、原爆のイメージしか無かったのですが、この旅行を通して、改めて戦争の被害の大きさ、残酷さを感じ、深く考えさせられました。

3年 東川 来愛



- | | |
|---------|--|
| 1
日目 | 小松空港から羽田経由で那覇空港へ
「国際通り」班別自主プラン
夜は沖縄戦体験者の方より平和講話
那覇市内 宿泊 |
| 2
日目 | ひめゆりの塔・平和祈念資料館
おきなわワールド
むら咲むらで琉球文化体験
普天間基地フィールドワーク
ヒルトン沖縄北谷リゾート 宿泊 |
| 3
日目 | ナゴバイナッブルパーク
美ら海水族館・読谷教会訪問
チビチリガマ・シムクガマ見学
夜は貸し切り島唄ライブ
ヒルトン沖縄北谷リゾート 宿泊 |
| 4
日目 | 首里城公園見学
那覇空港から直行便で小松空港へ |

演劇 コンクール

★★★★

7/19(金)

中学校で毎年開催している演劇コンクールは、特に盛りあがりを見せる行事です。今年の最優秀賞は3年生。現代とは全く異なる時代に生きた人々を描いた難しいストーリーですが、生徒たち自身が脚本から手掛けた力作です。チャペル全体を効果的に使い、当時の人々の心境や緊迫感が伝わってくる迫真の演技が観客を魅了しました。



INTERVIEW

1年
嶋 花音 さん

私は北陸学院小学校の時に演劇を経験し、自分の役割に責任をもつことを学びました。中学校の演技は、舞台セットを一から作り上げる必要があります。小学校の時よりますます準備が大変です。クラス内で意見がぶつかり合った時には、良い舞台にするために大切なことを考え、お互いの意見を取り入れることを心掛けました。その結果、本番はみんなが楽しめたと同時に、上級生の演技に圧倒されました。来年はもっと一致団結した演劇ができるように頑張ります。

1年「High School Musical」



2年「West Side Story」



3年「戦場のピアニスト」

最優秀賞



ミッション祭

テーマ「国際理解
～学校に行けない世界の子どもたち～」
8/30(金)・31(土)



ミッション祭は2日間にかけて行われました。1日目は文化部の発表、2日目はテーマに合わせた展示や、ジュース販売、ゲームコーナーを行いました。

私はミッション祭でゲームコーナーを担当しました。慣れない接客で上手く対応できるか、相手にわかりやすく説明を伝えられるかなど多くの不安があり、接客の大変さを実感しました。でも、訪れた方々の笑顔をみると、今までの準備やみんなと作り上げてきたものへの達成感を得ることができました。

今年の展示のテーマは「学校に行けない世界の子どもたちについて」でした。私たちは当たり前のように学校に通っています。しかし、貧困や家庭環境などの様々な背景によって学校に行きたくても行けない子どもたちがたくさんいることを知りました。簡単に解決できない問題ですが、この現状を多くの方に知ってもらい、深く考えるきっかけになったのではないかと思います。小さなことからでもいいので、この問題に直面している人々の手助けをすることが大切だと考えました。

ミッション祭を通して様々な人と交流し、多くの学びを得ることができ、実りあるものとなりました。この経験をこれからの成長に生かしていきたいです。

3年 井内 美里

ミッション祭 1日目 ステージ発表	ミッション祭 2日目 一般公開
- 英語クラブ - 弁論部 - 合気道部 - 理科クラブ - ハンドベルクラブ - 箏曲部	- 展示作品 (アーツ部、クッキング部) - ジュース販売 - ゲームコーナー (コイン落とし、スーパーボール、ヨーヨー、消しゴムin、ストラックアウト又はボウリング)
- 共同制作「いろいろな紙で協力して作ろう!!ちぎり絵」 - 展示「学校に行けない世界の子どもたちについて」	

運動会 9/28(土)

総合優勝

赤団



青団



応援合戦の優勝と総合優勝ができた私たち赤団。しかし私は「この団を優勝に導くことができるのか」と不安いっぱいでした。実際、最初は放課後のダンス練習の集まりが悪く、まとめられず悩んでいました。ただでさえ短い練習期間なのに、応援で何をするか、本番近くまで決まりませんでした。しかし、「やる時にはやる」が赤団のすごいところです。3年生のみんなも普段はふざけあっていたのに、応援練習の時は、1、2年生をまとめてくれ、一生懸命頑張ってくれました。本当に感謝しています。そして、1、2年生のみんなも私の無理難題をよく引き受けてくれたと思います。本番の時は、ダンスはもちろんですが、掛け声、笑顔、なによりも心をついでできたと思います。優勝できた喜びはもちろんですが、仲間とやり遂げた達成感や喜びは忘れません。本当にありがとうございました。

団長 3年 林 翠蓮

団長になったとき、私に青団の団長が務まるのだろうかと不安でいっぱいでした。初めは応援練習の参加が少なかった団員達ですが、運動会が近づくにつれて、練習に参加してくれる団員が増えて、とても嬉しい気持ちになったことを覚えています。

運動会当日、青団は大差で負けてしまいましたが、どんなに赤団との点差が大きくても、「次で勝とう!」「まだ逆転できるよ!」と声を掛け合っている団員を見て私は、とても素敵な団員と最後の運動会ができるのだなと思いました。今でも青団が優勝を飾ることができなくて悔しい気持ちでいっぱいです。でも、私はこの青団で過ごした日々を誇りに思っています。青団のみなさん、赤団のみなさんありがとうございました。

団長 3年 森吉 椿



初めての海外。初めての長期間、親のいない生活。何もかも初めてのことばかりで、とても不安でしたが、ホストファミリーと一緒にいった同級生、高校生の先輩方のおかげで毎日楽しい生活を送ることができました。最初は英語力を高めたいという思いでこの短期研修に参加しましたが、それだけでなく、この研修を通して、カナダの文化や、キリスト教について、そして自立することの難しさ、大切さ、などたくさんのことを学ぶことが出来ました。

また、現地の学校での授業で何と言っているかわからず高校生に意味を教えてもらったり、ホストファミリーに話しかけられてもほとんどYESやNO、ジェスチャーなどでしか自分の意志を伝えることができなかったりして、英語力で自分にはまだまだの部分がたくさんあるということを実感しました。この経験を生かして、自分の苦手なところを克服して、もっと英語力を高めていきたいです。

2年後藤 月愛

第71回 高円宮杯全日本中学校
英語弁論大会 11/27(水)-29(金)

アイルランド大使館賞同時受賞！



私にとって高円宮杯英語弁論大会は“New Challenge”でした。自分が考えたこと、伝えたいことを英語で話すのはとても大変で、たくさん練習しました。先生方のアドバイスののおかげで少しずつスピーチの形ができ、感情の表現も上手にできるようになりました。

全国大会には自分が思っていた以上に上手な人がたくさんいたので驚きました。そのためずっと緊張していました。でも「落ち着いてやれば大丈夫」という先生方の応援に力をもらい、全国4位に入賞することができました。決勝では今まで一番良いスピーチができたのでよかったです。この経験を生かしてこれから始まる高校生活もがんばりたいです。

3年 キム イェイル

宗教委員会活動

宗教委員会では、多くの生徒たちと一緒にさまざまな活動を行っています。「喜びをもって神様に仕える宗教活動」をもとに、協力し合いながら、宗教行事を創りあげています。

5月には花の日礼拝を守ります。生徒それぞれが花を持ち寄り、神様から与えられている自然の恵みに感謝しながら礼拝を守ります。その日の放課後には、介護福祉施設を訪問し、皆で持ち寄ったお花と一緒に讃美歌、ハンドベルの演奏をプレゼントし、大きな喜びを分かち合います。

6月には、ペアレンツデイの企画と運営を行います。保護者の方々に、日頃の感謝の気持ちを込めて、プレゼントを作って渡します。一緒に礼拝を守ったあとは、ゲームや感謝の手紙を読んで楽しいひと時を過ごします。

8月のミッション祭では、中学校全体のテーマ「国際理解～学校に行けない世界の子どもたち～」にあわせて、家庭で使われていない文具を集めました。たくさんの文具を寄付していただき、集まった文具は勉強したくてもできない外国の子どもたちを支援している団体に送ることができました。

10月には、収穫感謝礼拝を守ります。皆で果物を持ち寄り、感謝の礼拝を捧げます。放課後には、学校の近くの保育園や児童園に中高生が持ち寄った果物をプレゼントして、秋の実りを分かち合います。



宗教委員会による 主な行事

5月	花の日礼拝
6月	ペアレンツデー
8月	ミッション祭
10月	収穫感謝礼拝
12月	中学クリスマス

12月には、中学クリスマスが行われます。中学生だけでクリスマスの礼拝を守り、先生からクリスマスについてのお話を聞きます。その後、各学年や有志による出し物、ハンドベルクラブによる演奏など、それぞれの賜物を生かして全校生徒でクリスマスを待ち望むときを持ちました。

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です」(フィリピの信徒への手紙4章13節)とあるように、宗教委員会は、神様の導きの中でそれぞれが喜びをもって神様に仕えていくことを目標に活動しています。日々与えられている恵みに感謝しながら、それをお返しするような気持ちで取り組んでいきたいと思っています。

2年 齋藤 愛海